



花と緑の教室、催し物のご案内

観賞温室第2室
企画展示(要入館料)

3/23(木) 5/21(日) にいがたスプリングガーデンショー
第3部「シャクナゲ・ツツジ展」

5/24(水) 7/17(祝) 初夏の植物
～ハーブ、アジサイ～

特別展示

2/25(土) 4/16(日) 「はなみどり写真コンテスト入賞作品展」
出展：(公財)新潟県都市緑化センター

〈会場：観賞温室第3室休憩コーナー(入館無料エリア)〉

4/7(金) 4/9(日) 「春の大つばき展」
出展：新潟県花つばき協会

〈会場：花と緑の情報センター〉

イベント

5/4(木)・5/5(金) 春の植物園まつり

9:30～16:00 同日開催：観賞温室入館無料デー

- 体験教室 ●植物ミニ講座 ●園内ガイドツアー
- 園芸相談 ●物販(植物・食品) など

6/4(日) にいつ花ふるフェスタ

10:00～16:00 主催：にいつ花ふるフェスタ実行委員会

- フラワーデコレーション ●音楽ステージイベント
- 花ふるオリエンテーリング ●ミニSL試乗、飲食物販 など

※詳しくは当園ホームページにてご案内します。

花と緑の教室 要予約 開催日の1ヶ月前から電話受付

会場・集合場所／花と緑の情報センター2階(無料入館エリア)

4/9(日) 「ツバキの管理」 剪定などの実技をまじえた教室です
10:00-12:00 ●定員：20名 ●参加費：300円 ●講師：石井たき(新潟県花つばき協会)

4/9(日) 「植物園花散歩① サクラと春の花」
13:30-15:00 ●定員：15名 ●参加費：300円 ●講師：田中良明(当園職員)

4/12(水) 「植物園花散歩② 雑草」
13:30-15:00 ●定員：15名 ●参加費：300円 ●講師：田中良明(当園職員)

5/4(木) 「植物園花散歩③ シャクナゲ・ツツジと春の花」
13:30-14:15 ●定員：15名(予約不要・当日参加のみ) ●講師：倉重祐二(当園副園長)

5/5(金) 「植物園花散歩④ ボタンと春の花」
10:00-10:45 ●定員：15名(予約不要・当日参加のみ) ●講師：田中良明(当園職員)

5/6(土) 「植物園花散歩⑤ シャクナゲ園ツアー」
10:00-11:30 ●定員：50名 ●参加費：500円(シャクナゲの鉢つき・温室入館料含む)
●講師：倉重祐二(当園副園長)

5/14(日) 「植物学講座①」
13:30-15:00 ●定員：30名 ●参加費：300円 ●講師：未定

5/21(日) 「花とあなたとカメラと散歩」 気軽に楽しめる写真教室
13:30-15:30 ●定員：10名 ●参加費：1,000円(お茶代・温室入館料込み)
●講師：梅沢春子(フォトグラファー)

6/11(日) 「植物学講座②」
13:30-15:00 ●定員：30名 ●参加費：300円 ●講師：未定

6/14(水) 「植物園花散歩⑦ ハーブ・宿根草」
13:30-15:00 ●定員：15名 ●参加費：300円 ●講師：林寛子(当園職員)

6/21(水) 「マツの剪定①」
10:00-11:30 ●定員：10名 ●参加費：300円 ●講師：田中良明(当園職員)

6/25(日) 「マツの剪定②」
10:00-11:30 ●定員：10名 ●参加費：300円 ●講師：田中良明(当園職員)

7/9(日) 「植物学講座③」
13:30-15:00 ●定員：30名 ●参加費：300円 ●講師：未定

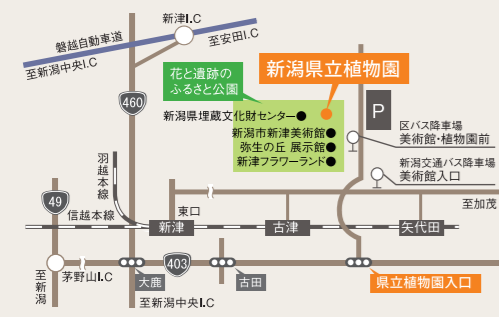
新潟県立植物園

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186番地
TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410
HP <http://botanical.greenery-niigata.or.jp/>

指定管理者 国際総合学園・都市緑化センターグループ

情報発信しています

新潟県立植物園 検索



VEGETABLE OIL INK 植物油インキで印刷しています

◆観賞温室開館日 温室開館時間／9:30～16:30(入館締切16:00) □ 休館日 ● 臨時開館日

4 April							5 May							6 June						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	・	・	1	・	1	2	3	4	5	6	・	・	・	・	1	2	3
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31	・	・	・	25	26	27	28	29	30	・

◆観賞温室利用案内 屋外園地無料 小中学生 土・日・祝日無料

	個人	団体(20名以上)	回数券(5回分)	定期券(6ヶ月)	
大人	600円	480円	2,500円		●シルバー料金での入館は生年月日を証明できる物の提示が必要となります。 ●高校生・学生料金での入館は学生証の提示が必要となります。 ●身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳所持者は無料となります(等級により介助者無料)。 屋外園地無料 小中学生 土・日・祝日無料
シルバー(65歳以上)	500円			1,200円	
高校生・学生	300円	300円			
小・中学生	100円	100円			

◆交通アクセス 駐車場無料：310台収容

- JR 信越線古津駅下車徒歩約25分
- バス 区バス：新津駅東口から「新津駅西口」行き「美術館・植物園前」下車徒歩約1分
新潟交通バス：新津駅東口から「矢代田経由白根・湯東営業所」行き「新津美術館入口」下車徒歩約10分
- 高速道路 磐越自動車道新津ICから国道403号で三条／加茂方面へ約15分
- 一般道路 (新潟方面から) 国道49号から茅野山ICを国道403号加茂／新津方面へ

新潟県立植物園

植物園だより

2017 spring Vol.67



コヒガンザクラ
Cerasus subhirtella
バラ科

バラ科サクラ属の広葉落葉樹。野生種のエドヒガン(*Cerasus spachiana*)とマメザクラ(*Cerasus incisa*)の雑種と考えられる栽培品種で、観賞用に庭や公園に植えられる。別名はヒガンザクラで、この名前を知っている方が多いように思われる。

交配親のエドヒガンの特徴である顎筒(がくとう)が玉のように膨れる形質が引き継がれている。サクラの中では小型で枝が細かく分かれ、花つきも良いので庭木に向いている。

(田中良明)



観賞温室
企画展示
1

にいがたスプリング・ガーデンショー シャクナゲ・ツツジ

平成29年
3/23(木) 5/21(日)

年明けからアザレア、チューリップと新潟の花を華やかにご紹介した「にいがたスプリングガーデンショー」。新潟の春の訪れと共に、お待ちかねのシャクナゲ・ツツジ展が始まります。

新潟県は日本一のシャクナゲ生産地であり、当園は日本一のツツジ・シャクナゲのコレクションを保有しています。会場内には県内育成品種、当園の誇る貴重で華やかなコレクションのシャクナゲ・ツツジの一部を展示に合わせて公開し、栽培や品種改良の歴史、最新の分類、品種についてのパネル解説を行います。

デザインされた庭園とシャクナゲ・ツツジとの組み合わせは、実に絶妙なバランス。シャクナゲやツツジの豪華な花と春の彩りをお楽しみいただけます。

さて、園地では日本最大級のシャクナゲ園の整備が来年春のオープンを目指して進んでいます。新潟県内で独自の日本名のつけられた貴重な古品種の大株が100本以上植栽されています。シャクナゲの花散歩教室も予定されていますので、新潟県特産のシャクナゲの魅力を知っていただき、各家庭への普及を図りたいと考えています。



上:クルマツツジ「花遊び」
右上:新潟県内で育成されたシャクナゲ「舞娘」
右:インド原産のヒカゲツツジの仲間フォルモスム(Rhododendron formosum)の花は甘く香る



上:アジサイ「フェアリー・アイ」
右:ガーデニングの材料として有望なノリウツギの園芸品種

過去の展示

観賞温室
企画展示
2

初夏の花 ハーブ アジサイ展

平成29年
5/24(水) 7/17(祝)

初夏には、好評をいただいているハーブとアジサイをテーマとした展示を行います。初夏にみずみずしい魅力を放つこれらの植物と季節の花々を用いて庭園を創出します。

第1部は、今年で4回目を迎えるハーブ展。人間の生活によりそってきたことで知られるハーブが美しい初夏に、利用方法の解説とともにハーブをつかったガーデニングの提案を行います。

第2部では当園のアジサイのコレクションを公開。最新品種や近年庭園材料としても利用されている花が美しく、育てやすい品種などを紹介します。



左:アジサイ「ティンカーベル」

春は花いっぱい、イベントたくさん

春の植物園まつり・観賞温室無料デー

平成29年
5/4(木) 5/5(金)

みどりの日・植物園の日、こどもの日の2日間、春の植物園まつりを開催します。

春は植物園が花で最も華やかな季節です。これにあわせて、当園職員がボタンやツツジ、シャクナゲなど園内の花の見どころを案内する「植物園花散歩」を企画しています。また、短時間で学べる植物ミニ講座や植物園まつり限定のバックヤードツアー、木工などの各種体験教室なども行いますのでぜひご参加ください。

温室ではヒスイ色の花を咲かせるヒスイカズラなど熱帯植物ドームの多種多様な植物や当園のコレクションによる企画展示「シャクナゲ・ツツジ展」もご覧いただけます。



昨年のまつりの植物園ツアーの様子



芝生広場でのステージイベント



ミニSL

第16回にいつ花ふるフェスタ

平成29年
6/4(日)

6月4日(日)には、毎年恒例の「にいつ花ふるフェスタ」(主催:にいつ花ふるフェスタ実行委員会)が開催されます。ステージショーやミニSLの試乗、飲食・特産品コーナーなどのほか、参加型のフラワーデコレーションを予定しています。花の秋葉区をアピールするとともに、来場者が作品を制作、観賞できる展示です。ぜひ会場作品の数々をご覧ください。

(村田亜希子)

園内
ウォッチング
(温室)

●不思議な花が咲くビヨウタコノキ (Pandanus utilis) タコノキ科

たくさんの気根が幹からニョキニョキと生えて地面にささっている姿がタコの足のように見えることから名づけられたビヨウ「タコノキ」。また、ビヨウ(美葉)は、樹姿や規則正しくらせん状につく葉が美しいことに由来します。葉の縁には赤い刺があり、その色とのコントラストも美しいものです。マダガスカル原産ですが、沖縄などでは、防潮林や公園樹として植えられます。

ビヨウタコノキは、葉の出ている中心からヘチマたわしのような花を咲かせます。それもまた突然、垂れ下がって咲くのです。実は、見えない間は花は苞(蕾の中で花を包んでいる器官)に大事に包まれ、その中でじっくり生え、十分に生長すると苞から放たれ、まるでびっくり箱のようにビヨ〜んと垂れ下がるので、咲く瞬間に立ち会えることはまずありません。

ビヨウタコノキは雌雄異株で、当園は雄株なので実はつきませんが、ご来園の際には不思議な花をぜひご覧いただきたいです。

(鈴木尚子)



葉の美しいビヨウタコノキ



葉の出ている中心から白い花がのぞきはじめた



雄花はおしべが多数あつまつたもの

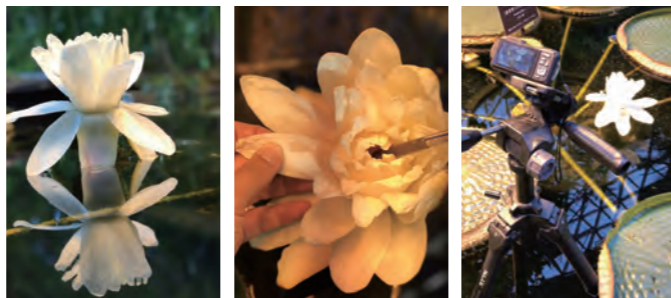
NEWS
1

パラグアイオニバスの
(オオオニバスの仲間)
開花動画撮影を公開!

オオオニバスの仲間であるパラグアイオニバス(*Victoria cruziana*)は、南米原産の水草で、直径2m以上にもなる円形の葉を水面に広げ、30kg程度の重量のものが葉の上に乗っても沈まないため、小さな子供であれば葉の上に乗れます。

葉はとても大きくなりますが、1年～数年で枯れ、栽培には高い温度が求められるため、日本の植物園では主に夏に育つ一年草として育てるのが普通です。そのため、毎年2月頃から16℃の水で保存していた種子を30℃に加温して育てるのですが、発芽率が悪く、発芽した後も栽培が難しいため、他園からの分譲を受けたりしながらも何とか育てています。

この植物は花の直径が15cm程と大きく、甘い香りがするだけでなく、一日目と二日目で花の色が白から赤へと劇的に変化する面白い特徴を持ちます。花は二日間しか咲かず、しかも夜に開花するため、皆さんにはなかなかご覧いただくことができず、残念に思っていました。



パラグアイオニバスの花 (水面に逆さに花が写る) 受粉作業は1日目の花が開花する夜間に行う タイムシフト撮影の様子

次の年に育てる種子を採るために、毎夜受粉を行いながら、ふと、開花の様子を動画に収められれば・・・と思いましたが。近年は高級カメラだけでなく、コンパクトカメラにもタイムシフト撮影と呼ばれる一定間隔で自動撮影する機能が備わっているので、撮影を試みてみたところ、撮影できることが分かりました。試行錯誤の末、電池が持つ時間やコマ送りしても滑らかに映る時間などを計算し、撮影時間41時間50分、撮影枚数1257枚(2分間隔)を41秒にまとめた動画を作ることができました。この動画は、温室のパラグアイオニバスを展示している池の前や2016年11月2日の当園のFacebookページでも紹介しています。

動画を見てみると、花が開花する際に花柄を上下に動かす様子や二日目の花が閉じる際に回転させながら閉じていく姿などもご覧いただけます。(久原泰雅)



ツバキの管理教室



体験教室(アメリカンフラワー)



植物園花散歩(ハーブ)



植物と食文化講座「日本のスパイスと食文化」(三条市スパイス研究所)



親子教室(藍染ハンカチ)

NEWS
2

植物園の教室

植物園では、植物への関心を深める各種教室を開催しています。植物の栽培のほか、植物と食べ物を結びつける「植物と食文化講座」や気軽に楽しめる植物写真の教室、植物ファンのための「植物学講座」、園内の植物を見ながら散歩する「花散歩」など、広い興味に答える植物園ならではの教室を企画しています。

また、今年度からご来園いただいた方に気軽に楽しんでいただける体験教室を毎週行うことになりましたので、ぜひご参加ください。(林 寛子)

●植物園花散歩

植物園職員が園内の植物を解説します。
★7、8月を除く毎月第2水曜日
13:30～15:00(予定)
上記のほかにサクラ、ボタン、シャクナゲの回を予定しています。

●植物学講座

専門家を講師にお招きし、植物のしくみや分類、植物にまつわる話などをお話します。
★4、8、1月を除く毎月第2日曜日
13:30～15:00(予定)

●夏休み親子教室

植物への興味が深まる体験型の教室で、夏休みの宿題にぴったり。毎年大人気です。
★夏休み前に抽選受付を行います。
詳しくは夏のチラシに掲載します。

●体験教室 NEW

植物素材をつかった季節の小物などをつくります。
★毎週土・日・祝日の
10:00～12:00、13:00～15:00(予定)
上記時間内に随時受付を行います。
各回の詳しい内容はお問い合わせください。

体験教室を開催しませんか

植物をモチーフにした作品作りを行っている個人・団体で、植物園を会場に教室を開催できる方を募集しています。詳しくは植物園企画課(0250-24-6465)へお問い合わせください。

NEWS
3

おさんぽマップに
温室版が加わります

ご好評をいただいている「おさんぽマップ」は、その時期に観賞、観察できる植物の植え場所を地図に示し、「へえ～」、「知らなかったけど、そうなんだ」と興味を持っていただけるように解説したガイドマップです。運営スタッフがこれまでの開花調査の結果から、テーマとする植物を選び、コースを決めて、手づくりで隔月で発行しています。

一年間に約5,000枚を発行しているように、多くの来園者にご利用いただいておりますが、裏面を使って、春から温室版も掲載することにしました。熱帯植物ドームには550種類の植物が植えられており、バナナや珍しいヒスイ色の花を咲かせるヒスイカズラ、熱帯のシャクナゲなどが植えられていますが、目立たない植物にも興味深い話がたくさんあります。これらについてもマップで解説することで、温室をより一層楽しむことができると考えています。温室版は現在準備中ですので、4・5月号からご覧いただける予定です。(倉重祐二)



おさんぽマップ 12月・1月号 「冬芽・葉痕を見よう!!」

NEWS
4

特別展示 クリスマスローズ展
(報告)

今年のクリスマスローズ展は、生産がさかんな新潟市秋葉区ならではの、区内の花の施設が連携した「Akiha クリスマスローズ展」の一会場として平成29年2月11日(土・祝)～19日(日)に開催しました。

当園の展示では、地元秋葉区の生産者さんにご提供いただき、当園で育成しているクリスマスローズのコレクションに加え、昨年クリスマスローズの世界展(池袋サンシャインシティ)の新花コンテストで最優秀賞をとった「ショコラ」(秋葉区 高正園出展)をお借りして展示しました。

ひとつとして同じ花がない、多様さが魅力のクリスマスローズ。ご来場のみなさんには、写真を撮ったり、好みの花を探したりとお楽しみいただけたようです。

また、2月11日、12日には、倉重副園長によるミニ講座や、花を贈りあうフラワーバレンタインにちなみ、当園でもクリスマスローズとアザレアの販売を行いました。会場では、県内にほとんど流通しない生産者の鉢が並び、クリスマスローズファンはもちろん、これを機会に育ててみたいという方や、同時開催のアザレア展を見てアザレアをお求めになる方もありました。新潟の花、クリスマスローズ、アザレアの栽培がさらに広がっていくことを期待しています。(林 寛子)



会場のような



ショコラ(高正園出展)



ミニ講座のような



特集●サクラ

3月に入ると気象予報会社からサクラの開花予想が発表され、開花日に関心が集まります。テレビなどではお目にかかりませんが、1月18日に日本気象協が最初の開花予想の発表をしました。この発表によると新潟の開花は平年より1日早い4月8日でした。2月にも随時発表されますが、3月に入ると各社から定期的に開花予想が発表されるようになります。

開花予想の対象はソメイヨシノ(育たない地域では別種)ですが、これは植栽されたサクラやお花見の名所になっている場所のサクラの多くが同種であるためです。

植物園には多くのサクラが植栽されていますが、最も早く咲くサクラがカンヒザクラです。このサクラはタイワンザクラ(台湾桜)やヒザクラ(緋桜)も呼ばれ、台湾、中国から東南アジアに原産する野生種で、園芸品種のオカメ、カワツザクラ(河津桜)などの早咲き種の交配親となっています。

その後には、日本の野生種エドヒガンが咲きだします。花は小型で花の基部にある顎筒(がくと)に玉のように膨れた部分があるのが特徴です。エドヒガンの後には園路沿いに植えられたオオヤマザクラが開花します。開花順に述べましたが、サクラの開花順は必ずしも決まったものではなく、前後する年も珍しくありません。

その次がソメイヨシノです。例年であれば、新潟市でも外れの秋葉区にある植物園の開花は新潟の予報よりもやや遅れる

のですが、去年は新潟と同じ4月3日に開花しました。ソメイヨシノの特徴は何といっても花の豪華さ、樹幹を覆いつくす花数の多さに尽きると思います。ソメイヨシノと対照的に地味に咲くのがチョウジザクラです。小さく白色の花で、顎筒が長くサクラの中でも特徴のある花が「さくらの山」の中でひっそりと咲いています。

ソメイヨシノが満開になるころヤマザクラやカスミザクラなどが続き、野生種のサクラを締めくくりにオオシマザクラが咲きます。その後はサトザクラと呼ばれる品種群が咲きだします。サトザクラとは、オオシマザクラがもとになり、オオヤマザクラやその他の野生種や栽培品種が自然交配したり、人為的に交配されてできた品種群です。

また、これらの他にも園地には八重咲きで株が立性のアマノガワ(天の川)、八重桜の代表品種カンザン(関山)、ピンク色の八重で花弁の数が多いヨウキヒ(楊貴妃)など多数の品種が植栽されています。変わったところではミドリザクラといわれ花が緑色から薄黄色のギョイコウ(御衣黄)やウコン(鬱金)がサクラの季節の終わりを告げるように4月中旬に開花します。

昨年から園内でサクラをさらに楽しめるように園路沿いにシキザクラ、カワツザクラなどを植栽して桜並木をつくっています。数年後には園内いっばいに咲き誇る満開のサクラをお楽しみいただけたと思います。(田中良明)



さくらの山



植物園友の会の展示



田上町で活動する「はな舞」によるフラワーアレンジメントの作品展示



ジャパンハーブソサエティ新潟支部による作品展示

information 第3室住宅内展示

観賞温室第3室の作品展示室は、県内で花や緑に関連した活動や教室を行っている団体等の作品展示発表の場として利用していただいています。現在は年間20回ほどの作品展示を行い、入館者から好評を得ています。出展者の思いや気持ちのこもった作品を是非ご覧ください。

平成29年7月までの展示予定

- 4/4(火)～4/16(日) にいがた花絵プロジェクト実行委員会「2017デザイン画入賞作品と花絵プロジェクトの歴史」
花絵プロジェクトでは、チューリップ球根の生産現場で花を確認後に廃棄してしまうチューリップの花を利用して花絵を製作しています。今年のデザインとプロジェクトの歴史を紹介します。
- 4/18(火)～5/7(日) フラワーアレンジユニットPLAT「生活を豊かに彩るフラワースタイル」
- 5/9(火)～5/21(日) 下越ボタニカルアートの会「ボタニカルアート展」
- 5/24(水)～6/11(日) 秋葉写真倶楽部「花の写真展」
- 6/13(火)～7/2(日) 明後日朝顔プロジェクトNIIGATA「一緒に咲かせてみませんか 明後日朝顔」
明後日朝顔は、十日町地域で開催されている「大地の芸術祭」においてアーティスト日比野克彦氏と昉平地域の作品として2003年に始まったアートプロジェクトで、今は全国20か所以上で繰り広げられています。当園をはじめ市内各所で朝顔を咲かせています。
- 7/4(火)～7/17(月・祝) Tommys Stone Hiro「花の香りに包まれて」「ハサミde切り絵」
編みぐるみアクリルたわしとサシェ、超絶技巧の切り絵の展示。

花と緑の相談コーナー

植物 Q&A

Q

スイセンやチューリップなどの秋植え球根の花が終わりました。この後の管理はどうしたらよいですか。

A

秋植え球根は秋～翌春に生育して開花し、夏の高湿乾燥期に休眠する性質を持っており、スイセン、チューリップ、コルチカム、ヒアシンス、クロッカス、球根アイリス、ユリなどがあります。この生育のリズムと新潟県の気候が良く合っているので、新潟県はこれらの球根の生産地でもありますし、チューリップは新潟県の花に指定されています。

花の終わった秋植え球根の基本的な取り扱い、花が終わって地上部の茎葉が黄変してきたら掘りあげて、球根を乾燥状態で夏越しさせますが、種類によって少し異なるところがありますので参考にしてください。

《チューリップ、球根アイリス》

毎年6月ごろに茎葉が黄変してきたら、茎葉と球根を付けたまま掘りあげて、風通しの良い日陰で乾燥させます。茎葉がしっかり枯れたら球根と枯れた茎葉を分けて、球根だけを秋に植えるまで風通しの良い日陰で乾燥保管します。

《スイセン、コルチカム、ヒアシンス、クロッカス》

植え場所をかえなければ毎年掘りあげる必要はなく、3～4年植えっぱなしでもかまいません。掘りあげる場合は茎葉が黄変してきたら掘りあげて、風通しの良い日陰で保管します。

《ユリ》

種類によって開花期が違いますので、掘りあげる時期が異なります。花が終わって2～3か月で茎葉が黄変してきたら掘りあげて、球根と茎葉を切り離し、球根を水洗いしてから湿らせたパーミキュライトや砂の中に埋めて、植付け時期まで保管します。



スイセン



クロッカス



チューリップ



ユリ



コルチカム